

ح



長野県下伊那郡豊丘村公民館報 編集委員会 0265-35-9066 印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村

(5月1日現在 ※外国人を含む) 3,250人 3,273人 6,523人 2,248戸 男女 総人口

の桜の名所を

一語区プラバイン きる身体と心に優しい嬉し イベントです。

に参加して 桜めぐりツア

タンプラリーが行われ、祖 四月七日に、桜めぐりス 林原原 穂花

母と参加しました。何回か

巡り、スタンプを集めて素 敵なプレゼントをゲットで 歩いたり走ったりして駆け アーは、村内の桜の名所を クラブにおいて、春の健幸 〇法人総合型地域スポーツ デー桜めぐりスタンプラ 今年で三回目となる同ツ ーが開催されました。 去る四月七日(日) N P

かな陽ざしのもと、 桜を楽しみました。 一十人参加があり、 当日は、村内外より 満開の 春の暖

ヨシノ、中学校下 校のソメイヨシノ のしだれ桜、中学 て、南小のソメイ

参加していますが、今年は 天気にめぐまれ、最高のお 花見日和になりました。

タートしました。各ポイン をもらえると聞いたので、 トでスタンプを集めると ワクワクしながら歩きまし コールしたあとプレゼント だんきゅうハウスからス

木門のお宮のし

た。

だれ桜を見ました。

きれいでした。 がっていてとても 館のしだれ桜を見 細い枝がたれ下 次に、村民体育



笹見平のしだれ桜

て着任いたしました、 に豊丘 校長と 四月

りなどの講師

や裏方での関

います。クラ

/活動や米作

わり。見守りボランティア

地域の方々にも支えられて

中寛人と申します。

支えていただい

拶を交わし、 として子ども

時に一緒に歩

の登下校で挨

と交通安全を

保護者の皆様

には、家庭で

いています。

動へ積極的に参加していた の養育のみならずPTA活

だき、それぞれの立場や場

「斜めの関係」を

豊丘中学校長

の子どもたちにとてもよい

る先輩後輩の関係が思春期 私は、ちょっと緊張感があ

影響を与えると思っていま

久美 豊丘

育活動がたくさんありま 皆さんの力をお借りする教 豊丘中学校では、地域の 豊丘村全体が豊丘中学 うの餞別」に感銘を受けて、 教師ながら挑戦していたこ 同じようにできたらと若年 章平先生の著書「ふきのと 方々が多く、尊敬する毛涯 顔の子ども達の顔と名前を を感じています。優しい笑 とても学校の温かな雰囲気 来賓の皆様で行いながら、 活を始められるのも何かの ともあります。この地で生 には、大変お世話になった す。私事ですがこの豊丘村 たくさん覚えたいと思いま 始業式・入学式を全校や

れいにさいていました。桜 の木の下で写真をとりまし ちょうど満開で、とてもき す。南小学校のソメイヨシ 私が特に印象に残った場 南小学校と林公園で 毎年見ていますが

きれいでしたが、ブランコ から見た景色は最高に素晴 最後に見た林公園は桜も

> らしく、中学 めて無事ゴー ました。スタ く桜をながめる プレゼントも

ながらたくさん春を感じる また参加した ことができま れたけれど、満開の桜を見 帰りました。 約三時間歩 いです。 した。来年も いて足がつか

もらって家に ンプを七つ集 ることができ 校の校庭にさ ルできました。

0段丘/

き思い出すのが昭和のヒッ ぎた子どもは期待に沿った あるが、結果をほめられす 伸ばす」という教育方法が すことに大きな喜びを感じ がふと口ずさむ曲を送り出 がくれる勲章よりも、大衆 を聴いた。その曲は浜口作 ら流れるチンドン屋の演奏 等の叙勲の打診があったが その功績で文化庁から勲四 いろ』などがある。晩年、 今夜も有難う』『人生いろ ピソードだ。浜口の作った むというものだ▼そんなと ほめ言葉なら思わず頬も緩 誰でもほめられるのは誇ら める」という部分だろう。 る▼この言葉のキモは「ほ 山本五十六が言ったとされ かせて させてみて ほめ 行動ばかりし、新しいこと ていたのだった▼「ほめて 思わず涙したという。お上 がある秋の午後、商店街か いるのではない」と辞退し 歌謡曲には『バラが咲いた』 トメーカー浜口庫之助のエ しく、立場が上の人からの した格言である。海軍大将 人を動かすときのコツを表 てやらねば人は動かじ」。 と記されていた▼そんな彼 一勲章のために曲を作って 『涙くんさよなら』『夜霧よ 書をもったときに死ぬ」 『僕は泣いちっち』で、 ノートには「芸術家は

子ども育ちを 支えられる学校に 田中 **寛人** 豊丘南小学校長 縁」。まずは、人と人との

の方との「斜めの関係」 そして、豊丘村では地域

光栄に思い、責任の大きさ

ません。

ために、働けることを大変 地で豊丘村の子どもたちの しい子どもたちです。この

きるように、

できることは

にチャレンジしなくなるそ

少ないですが

職員ととも

にこの子らの

育ちを支えて

います。どう

らのほめ言葉からは距離を れ自滅する前に、偉い人か うだ。承認欲求をくすぐら

ぞよろしくお

願いいたしま

校教育への期待 ける想いの表 丘村の皆さん

ただいています。これも豊 で子どもの育ちを支えてい

います。少し

でもお応えで 符であると思 れであり、学 の子どもにか

は?」と聞かれ「部活動

「中学で楽しみなこと

と答える生徒が多いです。

期待できます。

も中学生の成長には欠かせ ところ見せたくなる、守っ 生が横の関係。そのどちら 輩と後輩が縦の関係、同級 輩の存在は、ちょっとい い自分」へとつながってい す。「憧れの先輩」が「なりた てやりたくなる存在です。 親と子、先生と生徒、 先輩にとっても後 のです。「大人って案外楽 ちゃった)」そんな斜めの ほめられちゃった(叱られ 生きと生きる大人との出会 大人へと導きます。どうぞ 関係が中学生をかっこい しそう」「知らない人から 校の教室です。地域で生き よろしくお願いします。 は、キャリア教育そのも

をし、

膝をついて黙々と床

爽やか 中生は

きます。

に挨拶

を磨くことができる素晴ら

十代半ばから「門付け」と は、津軽三味線を習得して

地を流れ歩いた。その苦難 呼ばれる芸人として極寒の

の半生を星野哲郎が詞にし

に三味線だけば

よされよ (ひとえ

徹から病床に届けられた数 意を留まらせた。盟友船村 かし、一冊の本が星野の決 はやめよう」と思った。し ح

二味線が花を添える。その

佐原地区の春の祭典の屋

二味線奏者に四年前指名さ

が描かれ、男の強さと弱さ、

い冬を一人さすらう男の姿

は福祉センター完成、明神 橋の歩道橋、 昭和4年の五大ニュース 村道の舗装な 話題が多かった。

総合福祉センター完成 105票 明神橋の歩道橋完成 80票 75票 3 村道の舗装に着手 55票 4 師走の総選挙 35 票 5 館報 100 号特集を発行

昭和44年(1969年)の五大ニュース

渡し舟、吊り橋と変遷し、 の影響で歩道が設置され た。対岸に行く手段として 赤い明神橋」は昭和7年

ながれ旅』には北国の厳し されと雪が降る♪ 『風雪

とへの危惧があった。それ り」さまざまな生活様式が 成長で消費ムードが高ま 点の政策だった公民館建 ①唐沢村長のこの年の最重 ど、インフラ整備に関する 通量の増大と大型車の往来 ②赤い鉄製の旧明神橋。交 場として福祉センターがで 家庭経済を脅かしているこ 設。そこには「異常な経済 に対応できる学習と憩いの (四) 昭和4年 的に発刊した。村のマスコ野の旧村の理解と融和を目 日投票の衆議院選挙。初め ④暮れも押し迫った12月27 年をかけての舗装計画が始 普及、過疎化対策として5 れていたが、山間部へ続く 足し、3か月後に神稲、河 た。30年4月に豊丘村が発 年8月号で100号となっ 票順)が議席を得た。 共産党、無所属、社会党(得 人に9人が立候補。自民党 村を含む長野3区は定員4 れた選挙でもあった。豊丘 てテレビで政見放送が行わ まった。 クールバス運行、マイカー 廃止と保育園統合によるス 村道は未舗装だった。分校 ③村中心部の県道は舗装さ 「館報とよおか」はこの

総投票数535票

「広報的色彩

ミを自負し、

号特集で当時の五十嵐禅瑞 意見の相違があれば館報紙 とをよく知り、自分の問題 り、他の人の考えているこ よって私たちの村をよく知 ず発言し、この意思を受け の本来の役割である。臆せ い」。これこそが公民館報 をはっきりと見きわめて、 べた。「館報を読むことに 公民館長は次のように述 力してきたという。100 上で議論をつくしてくださ

継ぎたい。

文責:壬生

雅穂

世界第1位/国鉄累積赤字 告/大学紛争激化、東大安 田講堂の封鎖解除に機動隊 4137億円、国鉄監査委 テレビ受信台数1269万 ★この年の出来事 国鉄は破産寸前と報

-ンド放浪の旅に出るベングラの任務を終えて

福澤郁文

けは歌にしたいと「風雪な があった。この高橋竹山だ 冊の本の中に高橋竹山の自 叙伝『津軽三味線ひとり旅』 がれ旅』を書き ビと言われた相 上げたという。 黄金の名コン

上佐原 小池 だった。売れっ は特別な楽曲 徹にとっても 方の作曲家船村 ロンビアからフ 子作家だった船 |風雪ながれ旅| ーとなったが は専属のコ

高橋竹山の半生が胸にしみる

[風雪ながれ旅

郎の『風雪ながれ旅』。津

三味線と言えば、北島三

軽三味線奏者の第一人者高

き渡る。

昭和五十四年

線の音が心に響 愁を帯びた三味 浮かべると、哀 絶な人生を想い なかった男の壮 を弾くことしか ている。三味線 虚しさが綴られ

橋竹山がモデルの歌である。

幼いときに麻疹(はしか)

にかかり半盲となった竹山

梗塞)が襲っ 星野を病(心筋 順風満帆だった

は「もう作詞家 た。病床で星野 え根っからのものぐさも手

と受諾したが、難しさに加 考え、若者とセットでなら れた。若者への橋渡し役と

伝って自宅練習もままなら

ず、体たらくが続く。

と再びコンビを組めるよう とで先に移籍していた星野 かった。フリーになったこ になり、その第一弾が『風 ト曲に恵まれな

> み出すのである。 言われる『みだれ髪』を生 がれ旅』と並び最高傑作と 金コンビは、後に『風雪な みがえった星野・船村の黄 五年)の第一回古賀政男記 売されたその年(昭和五十 歌で船村は息を吹き返した。 雪ながれ旅』だった。この 念音楽大賞を受賞した。よ 『風雪ながれ旅』は、発 故がなくてよかった。それほどに現地で 大使から奉仕団へ労いのおことばがあり、 は過酷な状況が続いていたからだ。日本 僕も体重が九キロも減り、ベルト穴はい り前よりはたくましく見える。アメーバ

赤痢にやられ帰国した者もいたと知る。

くつも縮んでいた。

ボランティアメンバーたちに大きな事



興ボランティア奉仕団の任務は終った。

での再会を約束し別れる。僕らの農業復 派遣グループだった仲間たちとは、日本

気グループのビートルズはじめ、インド 市コルカタに飛んだ。当時の世界的な人 にはヒッピーたちの集まる神秘的な独特 ダッカからインド西ベンガルの巨大都

インド放浪の旅へ出る

さつとさせて ことを期待し

いただきます。

きました。

配属された当初は新型コ

就任のあい

民館主事を務めることがで の皆様に支えていただき公

点として、益々

発展していく

森進一/『ブルー・ライト・

紀さおり/『港町ブルース』

『夜明けのスキャット』由

ヨコハマ』いしだあゆみ

が濃厚」にならないよう努

★ヒット曲

「公民館活動とは 新公民館主事

辻元 慎一



監修:筒井

達郎さん

自らがしたいと思える活動 われ行動するものではなく ただいております。 めあるてで仕事をさせてい 公民館活動は、誰かに言

経ち、新たに建設されたゆ 年半、福祉センターで仕事 をさせていただき、十年が 主事を務めます辻元慎二と により、十年ぶりに公民館 甲します。 以前は平成二十年から五 この度、役場の人事異動

ありがとうご

前公民館

沼 智子 主事 ざいました

の皆様の経験やアイデアに

切ることができました。 けていただき、無事に乗 な中でも、実行委員や地域 ながらの進行でした。そん を行うにも対策等を勘案し ている状況で、どんな事業 ロナウイルス感染症が続い

多くの学びを

感じています。 を実践していく場なのだと 公民館が地域づくりの拠

間ではありま

一年間とい

大変短い時

だきました。本当にありが 多くのことを学ばせていた 地域の皆様との協働の中で

とうございました。

からこの地には憧れを持っていた。のイメージがあり、僕は美大の学生時代 その日暮らしの、目的のない無銭旅行を してみたかった。 ひとつの価値観にとらわれない生き方

の設立者のひとり小田実に影響され、 の著書『何でも見てやろう』の精神を実 反対し『ベトナムに平和を!市民連合』 践してみたかったのだ。 あの時代、米国によるベトナム戦争に 彼

たのは、灼熱の太陽のもと暑い日の続く

業復興奉仕団のボランティア活動を終え

バングラデシュでの四ヶ月あまり、

メンバーたちも首都ダッカに戻ってきた。 八月になっていた。遠く派遣されていた

みんな黒く日焼けし、身体も引き締ま

家でありながらインドの貧困にも立ち向 主義的なところが気にいっていたのだ。 かう姿勢には共感していた。作家の体験 日本の私小説文化を痛烈に批判し、

インド・コルカタは混沌と歴史の街

カとはまるで異なる、予想を遥かに超え る姿、未知の地を旅する興奮がある。 街の匂いと人々の貧困、そこにはダッ

髭面のヒッピーたちで溢れていた。 とる。広いだけの部屋に粗末なベッド。 アーミー』というホテルにひとまず宿を ある場所を目指した。『サルベーション 金のない旅行者らが集まる街、 安宿

ダッカの地で現地解散となる。これで、

い味がテーブルに並んだ。隊員らはこの

夜の歓送会にはお酒や日本料理の懐かし

明日からは自由になるのだ。チッタゴン

のガイドブックがあった。『地球の歩き 我々のような無銭旅行者のための日本語 きには緊張するのだ。街の本屋でインド の通じる都市であるとはいえ、ひとり歩 る老人たちもいた。ここは、ベンガル語 くるのもいる。路上には病人のように眠 たちに囲まれる。麻薬などを売りつけて 方インド』である。今でこそインド旅行 旅行のための地図を手にいれる。当時は 街に出てみると得体の知れない物売り

> 国の植民地統治による東インド会社当 など歴史的な建造物を訪ね歩いてみる 日間を過ごした。博物館はじめ、美術 った。歴史が息づく街、コルカタでは 行者にはとても重宝する旅の情報誌で 出版されているが、当時はこの本が、 本は案内本はじめ、体験記の本が数多

族にににし歩民街夕街 時 英 き回っていると恐怖すら感じ、怯えて 仮のテント風のシートだけで暮らす家 流れ込んできている。いまも暗闇の中 は、多くのベンガル人がこのコルカタ まう…。バングラデシュ独立戦争当時 街ともいえる粗末な家々が立ち並び、 日が傾く頃、港町などの庶民が暮らす 並みは古い歴史と異国情緒を感じる。 緑の街路樹に広い道路、行政府のある にも出かけてみる。大河の沿岸には貧

ガヤへ向かう列車に乗りこんだ。 ブッ

ダコ



したが、多く の古い建物がいくつものこる。

の姿もあった。

ルカタ駅からブッダの修行の地、 数日をインドの大都会で過ごした後、

安宿でひとり、インド放浪の旅を思案する

田村の桃 田村諏訪神社に社碑を建 太郎会二 鷹見栄雄

のお二人を石工に決定、仕

け渡しが行われ、碑文の彫

台石は出砂原方面を三日

上げ建設費九十五円にて受

事渡ったのであります。 あった。それを利用して無

かわるがわるに声はりあげて

目出度、目出度の若松さま

のサンサ」

この日は会員のほかにも

た。碑の作成については飯 親田より、南市場の山口運 運んで用意してあったが、 送店の馬車で運んだのでし 長さ一丈一尺、巾五尺、厚さ の今村さん宅に設け、 田の浜井場布施銀次郎さん らいました。それに代わる は、すでに山吹の親田より てるために事務所を東養地 で丸山清三さんに買っても 形が小さいとのことで八円 であります。碑石について 十日より工事に着手したの 二尺の碑石をやはり山吹の 村藤太郎さん所有地で、中 間探した結果、下市田の中 五円を送って譲り受けたの 償とお礼の意味も含めて金 たい申し出に桑株の損害補 付してくださるとのありが 村恵助さん耕作地に最もよ 刻に心を込め精根を尽くし て従事されたのであります。 であります。

石台を発見、お二人にお

資金として金三百円の借り

を心強く感じました。この 酒をいただき皆さんの支援 千歳家さんからお祝いの清 応援をいただき、市田駅前

信産銀行田村支店より

いしましたところ快く寄

小川屋染物店へ注文しまし

会員が着る法被は飯田の れが行われています。

大正十五年一月十六日、

▲田村諏訪神社の社碑 「大正五年八月正二位 勲一等伯爵土方久元書」 の宇佐美伝之助さん、伴野

であります。

碑の周辺の石積みは会員

を一時堤防の上に置いたの 着て作業をするために台石 染め抜かれ、それを全員が から桃太郎が生まれる図が 郎会と、背中には大きな林 た。その法被の襟には桃大

ح

その台石を会員総出で山車

を越すための設備がして 組合製糸で汽罐(ボイラー) 翌十七日にやむを得ずそり が悪く、ついに市田駅付近 にて運び出したところ道路 にて車が壊れてしまった。 を作り明神橋まで運び出し、 をそろえ が行われました。みんな声 たくさん入れ、終日地突き 長さ二間の松丸太にて礫を は、櫓を組んで直径六寸、 エーン、エーン、エンコ 石碑の台石の基礎固めに

ものでした。(つづく) 豊丘村民話集・第弐集

〈昭和五十三年〉より〉 文責:壬生雅穂

のサンサ」 先の大きな幣束が揺れるそ のさまは何とも縁起のよい

「エーン、エーン、エンコ 上下するたびに松丸太の

令和6年4月27日開催 ▣ 村の部 おめ

男氏が日記をつけていたかど さて、この二冊の前後に秀 よって行われ手番は会員が の小沢卓一さんお二人に

第一、第二、第七、第八、第十 係遂ニ断了セントス昨夜近衛 一師団等ニ対シ動員令下ル 日露問題切迫シ平和ノ関 一月六日

々の出来事や家族・親戚の

内容は私的なもので、日

こと、交友関係や会計検査

果トシテ日露協商ハ全ク断 ンハ小村外相ニ会見シ其結 午後二時露国公使ローゼ

誌」等と題して概要が別項

した際は「~方面巡回日

でまとめられています。

その後、日本政府は二月

特に、視察検査等で長期出 的に書き留められています。 院での仕事のこと等が要点

> 書き出しは日露戦争開戦前 うかは不明ですが、一冊目の 砲撃アリ港ニ運送船四隻昨二七日第六回旅順口 日誌に記しています。 三月二九日

夜から始まっています。

『明治三七年二月五日

明治三十七年二月以降、も れています。(写真)一冊は、

> 筆で書かれています。特に いずれも和綴じの罫紙に毛 降と表題がつけられていて、

一冊目の表紙には「赤山

一冊は明治四十年一月以

氏が使用していた雅号の一 と記されており、当時秀男

つと思われます。

品の中に二冊の日誌が含ま

今回お預かりしている遺

れます。 を沈没セシム結果良好廣 は生還者二十人の意と思わ 塞作戦の記述です。○二十 瀬中佐之ニ死ス死傷一三 〇二十』(有名な旅順港閉

人になってまだ七年めで戦 明治三七年の秀男氏は役

(資料館主任

唐澤武彦)

戦況についてかなり詳しく 告を行い日露戦争に突入し ていくのですが、秀男氏は 十日にロシア政府に宣戦布

明治政府はありのままの戦 争中の大本営発表と異なり が……あるいは、太平洋戦 にはなかったと思われます 況について詳しく知る立場 ていたのかもしれません。 況を隠さず新聞等に公表し

<移動図書のご案内> 内容:歌、大型絵本、紙芝居 出演:ニコちゃんズ 六月の移動図書 四日(火) 伴野勤労者 とがいっぱい♪どうぞみ エプロンシアター、皿回 なさんお越しください。 し、などなど、楽しいこ 福祉センター

当たるのか考えてみた』 <本の紹介> 『天気のことわざは本当に 猪熊 隆之 (著) 時間 午後八時~九時 集落拠点施設

1時:六月十五日 (土) しみ会を開催いたします。 七日(金) 壬生沢福島 十時三十分~ 雨」では、鯖雲がおぼろ雲 親しみを感じるでしょう。 ので、当たることもある、 など。天気や自然に、より に変われば天候が悪化する



吟…AIを作った人も支配され

片桐

清明や手話盛り

り上がる町ベンチ

恵子

明子

昭子

春の風初シニ

ョンの看護生

鳥曇り鳥居に

続き急の坂

田

美和

は枝も栄えるー、葉も茂る」

雪形の駒ヶ岳と対峙の農暦 花の雨涙流すや石地蔵 霾や伊那谷すべて霞をり

森田

恵子

〈とよおか短

洋子

五重塔歴史を

埋みて風光る

木下

真水

下伊那の高校

生等が店先に立ちて声上ぐ「能登の募金を」

おほかたは飼食となりし紫木蓮 雛飾りあり面会を許さるる

宮下

純子

春ひと日

仁和

寺の庭粛々と小砂利踏みしめ暫したたずむ

大原真由美

松岡

照子

春風や式部ゆかりの恋の絵馬

林

恵美子

春の陽の川の

瀬ゆるむ岸の辺に鴨の親子が水中潜る

松尾ヒサコ

時子

指先のしびれ

しばし休めてた針持つ指は幼少のごと

頂きし初物し

いたけバター焼き逝きにし友の母に届けん

福澤貴美恵

遠く鳴きみぬちに聞こゆ初音かな 果樹園の枝整ひて春動く 丸山 矢島千勢子

<お楽しみ会のご案内>

春がくる部屋

置かれし歩行器は病の主を静かに待ちぬ

しくめぐる!

月日のありがたし庭に老松春を重ねる

毛涯百合子

図書館では、六月のお楽 ベレ出版

誰がほんとを

いうでしょう」みすゞの時代はテレビは無かった

気は偏西風の影響で西から 変わることが多いため、 たる確率が高い。「鯖雲は 虹は晴れ」では、日本の天 ています。「朝虹は雨、 験を踏まえ科学的に考察し ことわざは本当に当たるの で」など、天気を予測する 士である著者が、自身の経 でしょうか。山岳気象予報 「ツバメが低く飛ぶと 「暑さ寒さも彼岸ま

場所:ゆめあるて

研修室一·

課題「調」互選

吟…友来たる積もる話で夜が更ける

み上げた地位一言で失われ

林 もも子 小澤 凛

9上げた過去をきれいにラッピング

生で積んだ荷物はもう降ろす

山本 義彦

課題「積」

福沢勝美

〈豊丘村川柳クラブ豊柳会〉

W 彼岸昭和の友へ燻らせて ごしに椿咲いてる春炬燵 自由吟 山本義彦 選 調になると忘れる人の恩 たてられ調子に乗って恥をかき 福沢 かしい調べに乗って思い出も 西元 原 安田 勝美 峯子 美風 照子 喜子

令和

6年度

が目指す目標に向かって、

緒に学び取り組んで参り

ださい。また、会員登録は

ので、年間計画をご確認く 講できないものもあります

小 片椋 桐

横 小前 池

(六分館)

図書部

(分館代表)

ቨ

光

耋

賢児

清水さやか 前野まさ子

(三分館)

(二分館)

智幸 (二)分館

佐 林 彰 司 三

いきます。これからも世界

ましょう。

取り組み始めて四年、徐々

豊丘公民館がSDGsに

は村民の皆さまの間にもS

でも、皆さんで取り組むこ さな気づき、わずかな行動 たように感じられます。

学習会の内容によっては、

おり全十回開催予定です。

話三五-九〇六六)まで

本館

公民館長

市澤

和宏

大 安田 明博 (分館選出) 大 明博 (分館選出) 大 明博 (分館選出)

俊弘 洋英

(五分館) (四分館)

熊谷 北澤

雄

功治 民子 敏恵

光好(分館選出

片桐

正稔

(三分館)

小 原 椋

(五分館)

(四分館)

社会教育係長兼公民館主事

辻元 慎二 小石峯 剣

お問い合わせください。

ご希望の方は、公民館(電 年度途中でも可能ですので

学習会は、年間計画のと

~シリーズ~ 豊丘の自然 No.244

キムネクマバチとタイワンタケクマバチ (ミツバチ科)



間を長い糸で結んで飛ば う」と呼んで、胸と腹の して遊んだ記憶がある。

前 (小学生の頃)、「べぼ 作る)クマバチ。 クマバチ。全身が真っ黒 であればタイワンタケ 色であればキムネ(黄胸) 台湾、枯れた竹に巣を 前種は今から七〇余年

後の動向が気になる。記録 し続ける事!! ルハナバチの仲間全体の今 写真提供、井原道夫氏 拓

市箱川。

ます。ガードレールの白い

れば楽しい作品となってき が、植物の葉と組み合わせ

ました。日陰のため色温度

ながら同系色でまとめてみ たところを四隅に気を配り

を下げ青味を付加して爽や

この外来種の出現で、マ

帯びた毛深い大型のマル 介する。どちらも丸みを ハナバチ。胸の部分が黄 二種類のクマバチを紹 の確認は二〇一八年。飯田 認された外来種。伊那谷で 県豊田市で日本で初めて確 恐れられていたが、刺され て痛かった記憶はない。 「クマンバチ」 とも呼ばれ 後種は二〇〇六年、愛知

新しい物よりも古くて錆び

たり曲がったりする物こそ

ものです。どこにでもある めて写真にするのも楽しい の小さな植物を人造物と絡

ガードレールもその一つ。



【午後1時20分~3時

交流学習センターゆめあるて】

中田 松川

明彦 (三分館) 洋平 (二分館)

三澤 元島

(五分館)

図書館

公民館主事

宮下

茂

(分館選出)

体育部

(分館代表) 健太 (七分館) 伸彦 (六分館)

桐 川崎 野

篤

裕

壬生 唐沢 越野

川中島基司

(分館選出)

仲 田

正徳(二分館)

裕輔 (一分館)

三 会島田

酒井智恵子 (三分館) 功雄(四分館)

達也

琴

佐々木譲二(分館選出

(図書委員) 社会部 部長 松尾こずゑ 関口 明美 京子 菅沼 秀夫 分館長

(五分館) (四分館)

前号では造形を切り取り 部分をキャンバスにして、 小さな葉っぱが主役

でしょう。 波板の隙間を伝い葉を広げ ドレールらしさを出すこと ツル植物があります。プラ 表現するのも良いでしょう。 写真作品ができあがります。 この時注意することはガー 朝夕の光と影を入れ込んで 古い建物の壁に這い伝う

節は被写体探り

植物が活発に

が咲いていますが、これら ●野には様々な雑草や草花 探してみました。

葉をテーマに、身の回りを

回も造形物の中での小さな

とで一連のテーマとしての こすれ傷や錆とあわせるこ

写真作品としましたが、今

より強調することで写真 上げて赤味を着けています。 いたため、少しケルビンを た葉の影がハートを見せて に当たりここに差し掛かっ

> しまった情景も、枯れた物 が這い上がりやがて枯れて ります。古い板塀にはツル になってもテーマは見つか

> > なります。撮影する物が見 とがうまく撮影する秘訣と を探してなるべく近づくこ

つからないときはこのよう

は撮影しないのが原則です

なテーマをお薦めします。

フォトマスター1級 宮下正弘

が、暗い板の

中に茶色の植

のです。ど なってくる のように表 は印象深く のイメージ 現したいか を考えます。 訴えているように感じ が垣間見えて悲壮感を せて主張して 物の残骸が渋 でカメラを向け した。生きて けてみま い線を見 いたこと

ます。太陽の光は朝は青っ るものです。夕陽が井水升 ぽく夕方近くは赤っぽく写 陽の照る日陰はどうしても えてクリアな感じとしてい 青味を出してきますが、あ かにまとめてみました。太

けない形となっていました。 暗い影の黒の中に葉の 緑を強調してくれて思いが に葉を広げたところが これらは車に乗っていたの

では発見できない被写体で しませんが、秋以降の枯葉 に歩いて探すことです。 しには苦労は に成長する季 4カメラを手 手ですから、近くの被写体 カメラは遠くの被写体は苦 物は入れないことが大切と すから、葉以外の無関係な う。このテーマが『葉』で き感を出すのも良いでしょ うも良し、立体表現で奥行 なってきます。コンパクト 真正面からパターンで狙

すから、小さな

れてきます。 自然にできたは ここに水 模様が現

物がありました。隙間 を求めて伸びてきた植

井水の人造物には、 P T A

公民館運営審議会委員 (三分館) (六分館) (六分館) (五分館) (二分館) (七分館) (四分館) (一分館) 岡部 小池尾こずゑ 光好ゑ 琴子 吉田 原 明美

【スポーツ推進委員】 浩文 中原美穂子 武田 酒井 泰尚

今村貴美子 (社教委) 学 (商工会)

宮下 長生 正長 雅穂

館報編集委員 長谷川義久 (区長会) 北村 優佳 (JA)